

0・1・2歳の“やりたい”探し（園長つぶやき）

園での生活では“遊び”が主体になりますが、大きくなるにつれて“好きな遊び”が定まってきます。興味や関心が一人ひとり違うわけです。3・4・5歳児の子ども達は、ある程度何に興味を持っているかは、姿を見ていると分かりますが、0・1・2歳児の子ども達は、これからです。今、色々なものに触れて、探している感じですね。



今日は、0・1・2歳児の子ども達だけで、園庭遊びを行っていました。3歳以上の子ども達がいなくて遊べる事は環境を自由に使うことが出来て、自分の“やりたい”を探しやすいです。それぞれが、自分の興味に任せて園庭を駆け回っていました。



これまでも、書いたことがあります。子ども達は“やってみたい”と思う気持ちから、遊びや活動がスタートします。園での生活を安心して過ごすためにも重要になるものです。その為に、色々な経験や体験が出来る環境をどのように用意できるか、とても大切になってきます。今日の子どもの様子を見ても、ままごと、滑り台、三輪車などの遊具はもちろんですが、畑の花、そこにいたてんとう虫と蝶々の幼虫、他にも、フェンスやコンクリートのスロープでさえ、時には子ども達の興味を引く材料になっているようでした。

子ども達の可能性は無限にあり、どんなことに興味関心を強く持っているかはただ見ているだけではわかりません。出来るだけたくさんの経験や体験が子ども達主体で出来るように、環境等を用意しなければと改めて感じる時間でした。

(R2・5・19)

